



JASDAQ

2019年3月20日

各位

上場会社名 日本パレットプール株式会社
代表者名 代表取締役社長 田中和志
(JASDAQ・コード 4690)
問合せ先 常務取締役総務部長 涌田 正人
電話 06-6373-3231

経営計画策定に関するお知らせ

当社は、この度、新経営計画を策定いたしましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1. 策定の経緯

当社は、従来から事業展開にあたっての基本方針として、

- ① 11型・14型を中心としたパレットの普及拡大に努め、物流の合理化に貢献する
- ② お客様の要求に速やかに対応し、確かな品質とサービスの提供をめざす
- ③ 適正な利潤を確保し、永続的な発展をめざす
- ④ 社会的責任と公共的使命を自覚し、倫理観と遵法精神を重視する企業風土をめざす

の4項目を掲げ経営してまいりました。

すなわち、パレットを中心とする各種物流機器のレンタル提供によって、物流に関わるお客様の利便性向上、合理化に貢献することにより利用いただき、企業としての適正な利潤の確保をめざしてまいりました。そのために、社会的公器である企業としてのコンプライアンス経営の推進と提供するサービス品質の維持・向上にも取り組んでまいりました。

このような従来から経営の基本スタンスのもと、本年4月以降3ヵ年の経営計画を下記のとおり策定しました。

2. 新経営計画について

A. 名称

NPP経営3ヵ年計画 2021

B. 計画期間

2019年4月1日～2022年3月31日

C. 内容

重点施策骨子とその概要

I. 売上の拡大

お客様のニーズに沿ったサービスの提供に努め売上の拡大をめざす。また、新たな

ニーズを引き出すサービスの検討、商品ラインナップの拡充にも取り組むとともに、昨今のレンタル商品調達コストの上昇を受けて適正な料金収受に取り組む。

II. 費用構造の改善

効率的なレンタル商品の運用により、貸出し準備、メンテナンスに要するコストの相対的な低減をめざすとともに、各種諸経費の節減にも取り組む。

III. 経営基盤の強化

レンタル商品の品質向上とそのため保管・メンテナンス拠点の再配置も必要に応じて検討するとともに、レンタル商品の資産効率向上をめざし、もって、財務体質の改善につなげる。

IV. ガバナンスの強化とCSRの推進

引続き、内部統制機能の強化とコンプライアンスの徹底を図るとともに、事業に因んだCSRの取り組みを進める。

D. 目標数値

単位：百万円

	2019年度 (2020年3月期)	2020年度 (2021年3月期)	2021年度 (2022年3月期)
売上高	6,914	7,122	7,335
営業利益	198	234	273
経常利益	250	290	330

以上

本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。

また、本資料に記載された数値等は資料作成時点での弊社の判断であり、不確定な要素を含んでおり、その実現を約束するものではありません。

万一、この情報にもとづいて被ったいかなる損害についても、弊社は一切責任を負いませんのでご承知おき下さい。